

(様式第4号)

上田市認知症高齢者等支援ネットワーク協議会 会議概要

1 審議会名	上田市認知症高齢者等支援ネットワーク協議会
2 日時	令和6年12月24日(火)午後1時30分から午後3時30分まで
3 会場	上田市役所本庁舎5階 大会議室
4 出席者	春原 治子様、櫻井 記子様、神林 芳久様、 飯島会長、前田副会長、滝澤委員、小市委員、龍野委員、佐藤委員、杉本委員、柳澤委員、山崎委員、遠藤委員、杉浦委員、山岸委員、齋藤委員、宮入委員、田中委員、宇佐美委員
5 市側出席者	北島福祉部長、西澤高齢者介護課長、酒井課長補佐、中村認知症支援推進員、 沼田認知症支援推進員、佐々木高齢者支援担当
6 公開・非公開	☒ 公開 ・ ☐ 一部公開 ・ ☐ 非公開
7 傍聴者	2人 記者 2人
8 会議概要作成年月日	令和6年12月26日

協 議 事 項 等

1 開会 (高齢者介護課長)

2 あいさつ

福祉部長 今月3日には、国の「認知症基本計画」も策定され、「新しい認知症観」を浸透させることが行政の義務として掲げられております。認知症の発症により、何もできなくなってしまうという、これまでの認知症に対する偏見を払拭し、誰もが希望を持って生活できる上田市となりますよう、認知症施策を推進してまいりたいと考えております。本日は、3名の講師をお招きしており、「新しい認知症観」などの講話をお聞きする予定となっております。

3 協議事項

・「認知症」に関するアンケートの集計結果について

事務局 説明。令和6年10月8日～令和6年11月29日までの期間で、18歳以上の上田市在住または上田市に通勤通学されている2,500人にアンケートを郵送した。

うち、1,078件(43.1%)の有効回答数があった。

また同じ質問項目で、民生児童委員、千曲高等学校 生活福祉課、長野大学、ことぶき大学院、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、上田市役所 福祉部にアンケートを実施し、延べ560人から回答が得られた。 ※アンケートの回答は別紙参照

4 認知症希望大使との懇談会

「認知症になっても大丈夫な地域に」

- ・認知症希望大使・本人大使 春原 治子(すのはら はるこ)様
- ・社会福祉法人 ジェイエー長野会教育顧問 櫻井 記子(さくらい のりこ)様
- ・hinataboccoの会 豊殿ふれあいサロン運営委員会 神林 芳久(かんばやし よしひさ)様

(春原さんと櫻井さん)

- ・認知症になる前から認知症についてしっかりと学んでいたからこそ、認知症になっても怖くはなかった。認知症になっても終わりでないことは学んでいた。
- ・ボランティアの会にはいっており、診断後にボランティアの総会の場で認知症になったこ

とを公表した。

その会の中で会長を頼まれたが、“認知症だから引き受けられない”と断った。しかしそこで“認知症であるできないような会は、安心した会にはならない”と言っていただき、会長を引き受けることにした。そして地域みんなの支えのもと活動をしていくことが出来た。

認知症の人は何もわからないと決めつけるのではなく、認知症の人でも出来ることはたくさんあるし、考える力があるし、人を思う気持はあるので、地域の一人ひとりにも新しい認知症観を知ってもらい、古い固定観念を捨てて欲しいと思う。

その他事例等含めて紹介あり。

(神林さん)

オレンジサロン hinatabocco 等、豊殿地区活動の紹介。また食事や仲間づくりの大切さ、ぜひ、オレンジサロン hinatabocco に足を運んでくださいとのメッセージをいただく。

5 その他

事務局 ・今後の協議会の日程等について、

6 閉会（高齢者介護課長）